

統 計

JA 新潟県厚生連剖検輯報(長岡中央総合病院病理部 第2報、
病理センター剖検輯報 第9報)
—2006年度(平成18年度)、日本病理学会第49輯掲載予定分—

長岡中央総合病院、病理部；病理医

いからしとしひこ
五十嵐俊彦

キーワード： JA 新潟県厚生連、長岡中央総合病院
病理部、剖検輯報、2006年度(平成18年度)

英文抄録

2006年度(平成18年度)のJA新潟県厚生連解剖記録を掲載しました(表2)。詳しい検討内容は当施設保存の詳細な剖検輯報表に保存してありますので、希望がありましたら、改めて問い合わせを頂きたいと思ひます。

新潟県厚生連関連施設での剖検例を積極的に情報開示することは、医療の質を見直す意味において意義があるのではないかと考えております。病理解剖の意義の普及と今後の厚生連医療の進歩を期待します。あわせて、県内主要施設における年間解剖件数の推移を掲載しましたので、参考にしていただきたいと存じます(表1, 図1)。

謝辞 改めて、病理解剖に協力いただいた御遺体提供者の御冥福をお祈りするとともに、その御家族・親戚、日々の献身的治療並びに解剖承諾に努力された医療スタッフの皆様に御礼を申し上げます。

Statistics.

Annual report of pathological autopsy cases in Niigata Prefectural Welfare Federation of Agricultural Cooperatives in 2006 (18th year of Heisei)

Nagaoka Central General Hospital, Department of Pathology, Pathologist
Toshihiko Ikarashi

An annual report of pathological autopsy cases in Niigata Prefectural Welfare Federation of Agricultural Cooperatives in 2006 (18th year of Heisei) was listed in this paper.

Key word : Niigata Prefectural Welfare Federation of Agricultural Cooperatives, JA Niigata, annual report of pathological autopsy cases, 2006, 18th year of Heisei

表1、図1 新潟県内施設の剖検件数の年度別推移

昭和・平成		51	61	8	9	10	11	12	13	14	15	16
登録番号	輯報巻数	19	29	39	40	41	42	43	44	45	46	47
西暦		1976年	1986年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年
11501	新潟大学大学院+脳研究所	227	258	165	124		130	139	109	108	104	95
61501	県立がんセンター 新潟病院病理部	104	102	45	45	35	22	25	30	33	23	22
61502	新潟市民病院診療部病理科	74	116	55	50	48	49	38	40	34	37	41
61503	長岡赤十字病院病理部	25	34	41	34	71	72	46	33	37	37	30
61504	厚生連病理センター		64	55	52	53	39	53	41	74	42	25
61509	県立中央病院病理検査科		30	29	38	43	28	30	47	58	39	35
61512	済生会新潟第二病院 病理検査科			10	9	13	16	18	25	20	15	15



